



第3回シマフクロウ保護活動支援金贈呈の対象先が決定

令和3年12月21日に令和3年度第2回理事会が開催されました。その議題の中で、本年度の事業計画の柱であるシマフクロウの保護活動に携わっておられる方々に対する支援について審議を行い、令和4年2月を目標に次のとおり支援金の贈呈を行うことを決定しました。

支援金贈呈対象先

山本 純郎氏 (根室市)

：第1回からの継続支援

早矢仕 有子氏 (札幌市)

：第1回からの継続支援

竹中 健氏 (札幌市)

：第1回からの継続支援

齊藤 慶輔氏 (釧路市)

：第1回からの継続支援

田村 康教氏 (釧路町)

：第1回からの継続支援

高田 令子氏 (根室市)

：第1回からの継続支援

公益財団法人日本野鳥の会 (苫小牧市)

：今年度新規支援

支援金額は、本年8月に実施したクラウドファンディングの結果も踏まえて総額150万円になる予定です。今回新規支援先の「公益財団法人日本野鳥の会」様は、現在、『森の神・シマフクロウ 次の世代へと命をつなぐ森をまもりたい』という支援キャンペーン

NPO 法人北海道シマフクロウの会 事務局

を展開中です。シマフクロウの数を回復させ、絶滅の危機から救い出すためには数少ない生息候補地をいち早く見つけ出し、保全することが急務です。そして見つけ出した候補地は野鳥保護区として保全していかなければなりません。当会としても、このような保護活動に少しでも貢献したいという観点から今回選定させていただきました。

最近の新型コロナウイルス感染症の状況に鑑み、前年度に引き続き、今回も支援金贈呈式や記念講演会等の開催に代えて、受贈者の皆様から日頃の取組や今後の活動予定などについて、当会のホームページや機関誌紙面で発表していただくことを予定しています。

事務局より

国分北海道株式会社様より道産酒「島泉」シリーズの売上金の一部をご寄付いただきました

平成31年から3年連続でご寄付をいただいております食品卸道内大手の国分北海道株式会社様から、今年も総額343,550円のご寄付をいただくこととなり、12月15日(水)にその目録贈呈式が行われました。

当日、国分北海道株式会社様の諏訪社長様より寄付目録を頂戴し、当会村田副理事長から、シマフクロウ保護活動の支援のため大切に使用させていただく旨のお礼の言葉をお伝えしました。同社が販売する道産酒「島泉」シリーズ売上金の一部を当会にご寄付いただく仕組みで、これからも続けてお取組みいただけることになっています。

対象商品

●島泉 十勝ブランデー 熟成30年

●島泉 十勝ブランデー 原酒

●島泉 十勝ブランデー 原酒 33年熟成

●島泉 甘熟スイート 21年

●島泉 甘熟スイート ホワイト

●島泉 梅 32年



ご寄付対象売上数 2,187本



国分北海道株式会社では、「島泉」シリーズとして、どさんこプラザや札幌市内デパート、千歳空港各売店のほか、主要ホテルの飲食店などでも提供されていますので、ぜひご購入、ご賞味のほどお願いいたします。

事務局便り

● 本号では、生息地でシマフクロウの保護、研究に尽力されている6名の方と公益財団法人日本野鳥の会様への支援金贈呈決定のお知らせと長年、山本純郎氏の下で保護・飼育されてきた雌のシマフクロウ「ドン」の訃報に接しましたので、「ドン」のシマフクロウ研究・保護への大きな功績を偲び、会員の皆様にご紹介するために山本純郎氏に特別寄稿をお願いしました。

●賛助会員・寄付を募集しています

当会の活動趣旨にご賛同いただける法人・個人の皆さまの賛助会員としての参加と寄付を募集しています。当会のホームページからも手続きが可能となっておりますので、ぜひご覧ください。

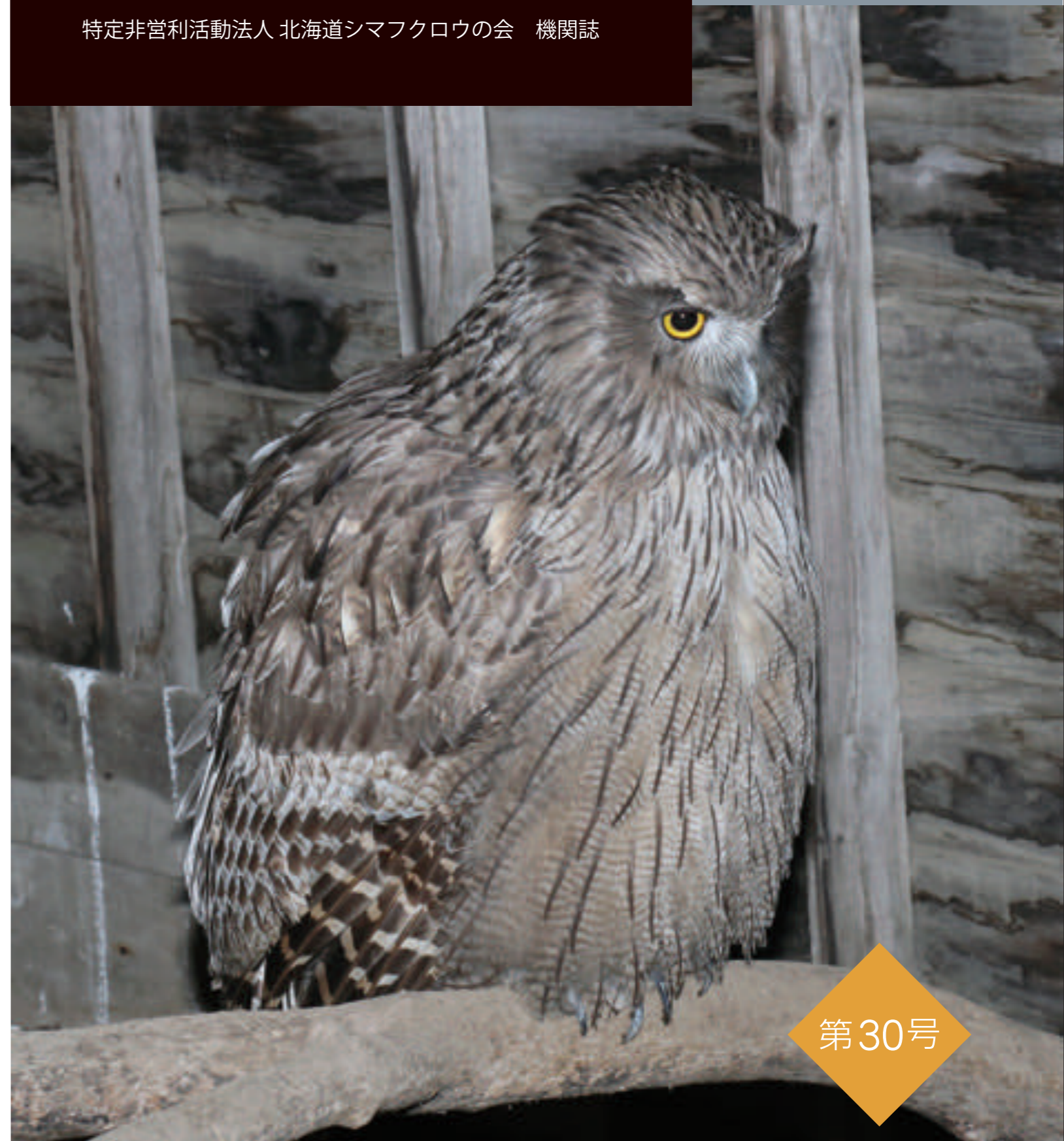
【認定 NPO 法人北海道シマフクロウの会 事務局】(担当: 米谷・久保木)

〒060-8640 札幌市中央区大通西3丁目11番地 北洋ビル6階 (株)北海道二十一世紀総合研究所内 TEL 011-231-8681 FAX 011-231-8683

URL: <https://hokkaido-shimafukurou.org/> E-mail: info@hokkaido-shimafukurou.org

北海道 シマフクロウ通信

特定非営利活動法人 北海道シマフクロウの会 機関誌



第30号

写真: 山本純郎

